

第20号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

白亜紀



ひたちなか市文化協会

題字 白亜紀

書道連盟顧問
河野 秋月

由来

砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の砕けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

写真

文 「希望のレインボー」

写真連盟顧問
根本 昭一
写真連盟顧問
福田 仁

「くじらの大ちゃん」が、愛くるしい大きな目と笑顔で子供たちを背中に乗せて戯れる光景は、平磯海水浴場のシンボルとなっている。

写真はコロナの影響で丘上がりした寂しげな梅雨半ば頃の「大ちゃん」だが、太平洋上に輝くレインボーは、やがてコロナへの不安も去り、子供たちの喜びの声が波間にこだまする希望の輪のようでもある。平磯に居住し地元を知り尽くした根本さんならではの貴重な記録写真と言えよう…。

平磯海岸は明治・大正から昭和初期にかけて全国有数の鰹の水揚げを誇っていた。現在「くじらの大ちゃん」が鎮座する砂浜には大量の鰹が並べられ、漁師たちが水揚げする姿を捉えた貴重な写真が遺されている。

目次

会長あいさつ	1	「白亜紀第20号」に寄せて	1
令和3年度活動報告	1	活動報告	1
総会	2	総会	2
芸術祭	2	芸術祭	2
団体の活動紹介	3	団体の活動紹介	3
美術部門	3	美術協会	3
書道連盟	4	書道連盟	4
陶芸協会	4	陶芸協会	4
写真連盟	5	写真連盟	5
音楽部門	6	合唱連盟	6
合唱連盟	6	市民吹奏楽団	6
市民吹奏楽団	6	市民オーケストラ	7
市民オーケストラ	7	ジャズ連盟	8
ジャズ連盟	8	舞踊部門	8
舞踊部門	8	舞踊連盟	8
舞踊連盟	8	洋舞踊協会	9
洋舞踊協会	9	編集後記	15
編集後記	15	文化協会組織図	16
文化協会組織図	16	囲碁連盟	14
囲碁連盟	14	俳句連盟	14
俳句連盟	14	文学部門	13
文学部門	13	茶道連合会	12
茶道連合会	12	華道連合会	12
華道連合会	12	華道・茶道部門	12
華道・茶道部門	12	伝統芸能部門	10
伝統芸能部門	10	邦楽連盟	10
邦楽連盟	10	吟詠剣詩舞連盟	10
吟詠剣詩舞連盟	10	民謡民舞連合会	11
民謡民舞連合会	11	伝統文化連盟	12
伝統文化連盟	12		

この度、ひたちなか市文化協会会報「白亜紀第20号」が発刊されることになりました。歴代の編集委員の皆様はじめ、活動を支えて下さったすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

さて、茨城県は全国魅力度ワーストワンと言われて久しいが、この度、本県にゆかりのある方々が、日本芸術院新会員に選出されました。世界的指揮者で水戸芸術館館長の小澤征爾さん、茨城書道美術振興会名誉顧問の星弘道さん、笠間の家・

新水戸市民会館（建設中）を設計した伊藤豊雄さんの3人は本県との関わりが深いのです。

ここで、改めて

小澤さんがなぜ、水戸芸術館の館長・水戸室内管弦楽団（MCO）の指揮者をしているか触れてみたいと思います。

1990年水戸市制100周年を記念して、コンサートホール・劇場・美術ギャラリーからなる複合文化施設「芸術館」が建設されました。当時館長で小澤さんの先生でもある吉田秀和さんが、芸術館を計画する時に、室内管弦楽団をつくりたいと小澤さんに話

したところ、即座に理解してくれ、

「全身的積極的協力を惜しまない」との決意からMCOが誕生しました。

メンバーは、小澤さん自らが、世界中から一人一人慎重に吟味しながら選び、これまでなかったような優れた室内管弦楽団が誕生しました。水戸はもちろん、活動の場を海外にまで広げ、音楽の都ウィーン、フィレンツェ、パリ等で、「世界有数の室内管弦楽団」との評価を確立しました。その頃パリ

の連なりの中で、一つの家族のような

気持ちになります。音楽の価値は、必ずしも美しさにあるのではなく、魂を解放させるような力があると思えます。音楽が人に変化をもたらし、人が変われば世界をも変えられる。」と語っています。

令和3年を振り返ってみると、コロナの終息を誰もが強く願いながらの活動でしたが、昨年同様コロナに始まりコロナで終了してしまいました。

芸術祭全体を振り返ってみても、

「白亜紀第20号」に寄せて

ひたちなか市文化協会
会長 川又 淨範

で仕事をしてきた森英恵さんは、会場で聴衆の感動した様子に興奮したそうです。成功を共に喜び、その余韻に浸りながら吉田先生とパリの街を歩いたこと、そのときの吉田先生の満足そうな笑顔を今も思い出さそうです。

オーボエ奏者で、楽団員のフィリッポ・トーンドウル（ミュンヘン国際音楽コンクール優勝者）さんは、「MCOの演奏は、皆を結びつけ、美しい瞬間

市内小中学校音楽会は、2年続けて中止になり音楽会は来年度も開催しないと決定しているようです。改めて継続することの大切さを実感させられます。

コロナ禍で今までの活動が正常に戻るためには、数年はかかる見通しのようですが、社会全体が多方面から助け合いながら力強く対応していくことが重要だと思っています。

令和3年度 活動報告

- 4月16日 ・第1回理事会
ふあみりこらぼ
- 5月18日 ・会計監査
ふあみりこらぼ
- 5月21日 ・第2回理事会
ふあみりこらぼ
- 5月28日 ・令和3年度総会
書面議決
- 7月16日 ・第3回理事会
ふあみりこらぼ
- 8月1日 ・第5回一日体験教室
中止
- 9月27日 ・編集委員会
ふあみりこらぼ
～3月
- 10月19日 ・芸術祭開催
市文化会館他
～2月6日
- 10月15日 ・第4回理事会
ふあみりこらぼ
- 2月6日 ・第15回 春の祭典
中止

令和3年度総会 2年連続書面審議で

今年度の総会も、コロナ禍により前年同様、書面審議の方法で実施しました。提出した議案は、すべて賛成多数により承認をいただいたことを報告いたします。

- ※・報告第1号 令和2年度事業実績
- ※・報告第2号 令和2年度収支決算
- ※・報告第3号 令和2年度収支決算監査報告
- ※は理事会で審議済み
- ・議案第1号 令和3年度事業計画
- ・議案第2号 令和3年度収支予算
- ・構成員64名(理事18名・代議員46名)中返信者58名

今年度の事業については、感染拡大状況を見極めながら、事業実施の可否を理事会で検討して参りました。やはり総会は、会員皆様の生の意見を聞き、討論を交わせながら意思疎通を図ることであり、2年連続での書面審議になり、寂しい総会となつてしまいました。

【検討した協会事業の報告】 「一日体験教室」について

4月の理事会では、8月の開催は

困難な状況であり延期としました。改めて10月の理事会において、1月～3月まで施設会場に空きがない事や、3月に開催した場合は、次年度開催までの期間が短すぎるのとこと中止としました。

「春の祭典」について

10月の理事会で協議した結果、今後も新型コロナウイルス感染の状況が見通せない中、参加者・入場者の安全を第一に考え、中止といたしました。

このような判断になったことは非常に残念ですが、安心安全を最優先に考えての決定であることをご理解いただき、来年度開催に向けてより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

人類を恐怖に陥れた「新型コロナウイルス感染症」は、確認されてから2年たつ今も新たな変異を続けながら世界を揺るがしています。

コロナ禍、困難な状況下ではありますが、必ず訪れる終息の日に向けてお互い前向きに進んでいきましょう。マスクを外し、みんな揃って笑顔で活動できる日が早く来ることを願っております。

芸術祭日程

10月19～24日	美術展覧会(絵画・彫刻・写真)
11月3日	第51回民謡民舞秋まつり
11月14日	日本舞踊公演&舞踊まつり
11月21日	第40回邦楽連盟三曲演奏会
11月21日	俳句大会
11月28日	ふるさとの伝統芸術文化研究発表会
12月5日	合唱祭
12月12日	バレエ&ジャズダンスフェスティバル
12月19日	市民吹奏楽団第37回定期演奏会
12月26日	Bトレイン29周年コンサート
開催中止の事業	
9月14～19日	美術展覧会(書道・陶芸)
10月3日	市民オーケストラ秋の音楽会
10月17日	吟詠剣詩舞大会
10月20～21日	市内小中学校音楽会
10月30～31日	いけばな展
11月10～14日	児童生徒作品展
11月14日	茶道連合会茶会
1月23日	市囲碁大会
1月23日	第11回子ども伝統文化フェスティバル
2月6日	文化協会総合発表会 「第15回春の祭典」

感染拡大防止対策を実施しながら、日頃の練習成果を発表できたことは評価できますし、縮小しながらも趣向を凝らしたステージや、展示作品に訪れたお客様は、思い思いに芸術を満喫されていました。

2年ぶりに開催された第II期美術展覧会 会場の様子

【写真の部】

【絵画の部】



美術展覧会上位入賞者

- | | |
|-------------|-------------|
| 【写真】 | 【絵画】 |
| 市長賞(特賞) | 市長賞(特賞) |
| 議長賞(優賞1席) | 議長賞(優賞1席) |
| 教育長賞(優賞2席) | 教育長賞(優賞2席) |
| 市長特別賞(委嘱出品) | 市長特別賞(委嘱出品) |
| 市長賞(特賞) | 市長賞(特賞) |
| 議長賞(優賞1席) | 議長賞(優賞1席) |
| 教育長賞(優賞2席) | 教育長賞(優賞2席) |
| 市長特別賞(委嘱出品) | 市長特別賞(委嘱出品) |
| 荒井 健一 | 高田由美子 |
| 酒井 正志 | 一ノ瀬具子 |
| 石原 民雄 | 金沢 光雄 |
| 加藤 芳子 | 川又 文字 |

コロナに負けるな!!
「コロナ禍での活動報告」

現在18団体に、1808名が在籍し、
「コロナ禍を乗り越え、元気に活動して
いる団体の様子をご紹介します。」

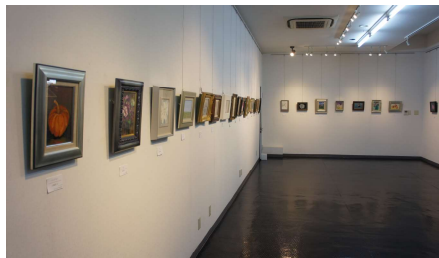
美術部門

元気を絵画で発信出来たら...

美術協会会長 横須賀 幸正

本年も昨年に引き続きコロナ禍のため計画していた行事（人物デザイン会、風景画研修会等）が出来なく残念に思います。

市芸術祭は、本年度は実施ができ、嬉しく思います。本年度出展された作家の中で、美術協会に入会したいと言う方もあり、このよう



小品展(ギャラリーサザにて)



会場風景

【第22回美術協会展より】

集合写真



な状況下でも前向きに取り組んでおられる方もいる事が分かりました。美術協会では、チャリティー小品展をギャラリーサザで、9月7〜13日の7日間実施しました。市、市教育委員会、文化協会から後援を頂き感謝申し上げます。大谷市長の来館もあり盛況にできました。売上金の1割（3万円）を市福祉協議会へ寄付できたことも嬉しく思います。

第22回美術協会展を11月13日(土)〜28日(日)の16日間、ひたちなか市役所の那珂湊支所の展示施設で開催しました。お陰様で会期中の来観者数は約600人以上あり、展示開催中は茨城新聞、ケーブルテレビで紹介されました。会員一人一人励みになりました。

本年も中根小学校から絵画指導の依頼が有り「社会人による学習支援事業」の一環として7名の会員が率先して対応しました。子供たちにとっても、現役の作家に触れることは大変有意義なことだと思います。来年も依頼があれば対応して行きたいと思えます。

これからも市政と共に文化の発展に貢献出来るよう続けて参ります。また、より良い作品制作に励み研鑽して参りますのでご指導ご鞭撻、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



5年2組 (指導: 山田幸夫氏)



4年1組 (指導: 服部和子氏)



6年1組 (指導: 飯嶋理枝氏)



4年2組 (指導: 宇野彰氏)



6年2組 (指導: 中村のり子氏)



5年1組 (指導: 市毛新一氏)



3年1組 (指導: 小野徳栄氏)

【中根小学校
学習支援事業】

令和3年度の活動状況

書道連盟副会長 川野邊 泰雲

今年度もコロナ禍ということで、矢野雲峰会長のもと臨時役員会を重ね検討し、一日体験教室・書道連盟展・市芸術祭・春の祭典等例年参加や開催している行事を残念ながら中止といたしました。実施行事は、令和4年1月19日から24日に市民交流センターで開催した書道連盟役員展のみとなりました。

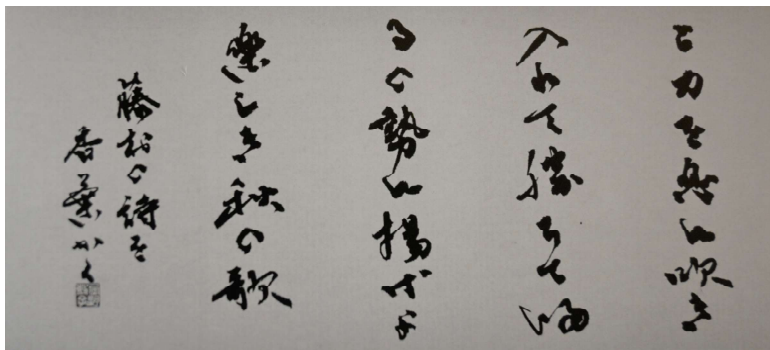
こうした厳しい状況ですが多くの会員の方々は変わらず日々研鑽に励んでおり、中には発表の場として茨城県芸術祭や読売書法展等の展覧会に出品し入選入賞している方もおります。特に東京六本木の国立新美術館で開催された第8回日展には西野香葉副会長が今年も入選されました。日展は数ある全国書道展の中でも最高峰最難関の展覧会といわれています。



▲ 六本木の国立新美術館

西野香葉副会長 ▶ 日展入選作品

題名 「労働雑詠」 (卷子本 30×340・部分)



今年度は応募点数が8508点で入選数は1083点でした。入選点数の多いのは一番が東京で次が兵庫、埼玉、京都、大阪、愛知と続きます。次がほぼ同じ位で福岡、岡山、千葉、神奈川、茨城です。茨城県が全国的にも書道のレベルが高く盛んであることがわかるかと思えます。

10月に「書道」が国の「登録無形文化財」に選ばれました。「登録無形文化財」は演劇や音楽、工芸技術などの歴史・芸術的価値の高い「わざ」を指し、これまでは歌舞伎や能楽など我が国を代表する文化が指定されてきました。技術研究や普及活動などで国の支援、保護処置等が受けられるようになり、書道文化を支える筆、墨、硯、紙といった文房四宝などの工芸技術の保護、担い手の育成にもつながると期待されます。またこの流れは、現在、書道界が丸となって活動している「日本の書道文化・書き初めを特筆して」の「ユネスコ無形文化遺産」登録推進の追い風になるものと思われれます。

陶芸協会創立以来最大の危機

陶芸協会 佐藤 祥市

現在陶芸協会は創立以来の最大の危機に直面しています。陶芸室の老朽化のため、令和4年度に撤去する

計画があります。

陶芸協会は、津田公民館の陶芸教室講座から始まり、以来43年津田コミセン敷地内の津田陶芸室を拠点として陶芸講座、子供陶芸教室、コミセン祭りなど津田コミュニティ地域とともに活動をしてきました。津田陶芸室は陶芸を愛好する市民にとってひたひたなか市で我々が利用できる数少ない陶芸拠点であり、津田コミセンの特色であります。

代替えの施設が見つかるまでの間、暫定的に市毛ハーモニーセンター（県施設）の陶芸室を使用するよう提示していただきました。陶芸室なので、一応の設備はありますが、津田陶芸室の7割程度の広さで、利用するにも数多くの制限があります。陶芸室の利用は、土日を除く週3回と少なく、最大のネックは焼成能力です。

津田陶芸室焼成能力の2割程度で、会員の作品も消化できないばかりか、一般市民の陶芸教室、毎年思い出が多く楽しみにしている子供陶芸の作品なども焼く能力がありません。

大ききや形に捉われない創作は不可能で、美術展覧会、発表会展示用

作品は制作できなくなると思われます。我々会員は一丸となってこの問題に関係部署と協議しながら解決して、陶芸を楽しみたいと思います。

今まで通りの自由発想の創作が出来ることを望むと共にこれから陶芸に興味があり、始めたい若者や、豊かなひと時を過ごしたい高齢の方まで、利用できる陶芸室にしたいです。

ひたちなか市民生活に貢献しようと考えています。



市毛ハーモニー陶芸室

写真で綴る第23回市写真連盟展 令和3年(2021) 3/13(土)~3/27(土) ひたちなか市役所那珂湊支所

展示会場を那珂湊支所に移して2年目になります。今回の連盟展には、31名の会員と那須塩原市文化協会黒磯支部写真部門の佐川栄治会長他4名、作品総数89点を展示しました。目玉のギャラリートークは中止しましたが、期間中の来場者は500余名に達しました。写真はカメラ無精が多いなか福田仁顧問がカクシ撮りしておいたものです。

会長 平野 伸生



展示完了/会長挨拶 3/13(土)



会場寸景 3/27(土)



出品者集合 3/27(土)



展示を終えて 3/27(土)



ケーブルテレビ (JWAY)の取材 / 放映がありました



(パノラマ撮影) 会場全貌

私の写真人生

写真連盟

荒井 健一

定年後の楽しみとして何をやるかと考えていると、妻から絵画とか写真等をやってみたらとの提案もあり、写真を選んだのが始まりであった。講座のチラシ等により写真教室の募集を見つけ応募することになり、希望者が多くかなり高い倍率であったが受講の機会を得た。

写真の良いところは、何時どこで何をどう撮るか。頭と足を使いながら一瞬を切り取る心の高揚感。多くの仲間ができ、こんな写真を撮ってきた等々と写真談義に華を咲かせ、脳や身体や心の運動に良く健康には打って付けの趣味だと言える。70歳も過ぎると体も音も上げ出すが、写真のお陰で入院や治療中でも直ぐに元気になれる。写真に興味にしてお陰と実に有り難く感謝しているとこである。

写真を始め6、7年後に、より写真の幅を広げるべく「フォトクラブ写真」や「市写真連盟」に入会し写真の真髄を学ぶことにした。福田顧問

音楽部門

「ラベンダー 薫衣草」紹介

合唱連盟

薫衣草代表者 宮尾 由美子

問や諸先輩方の素晴らしい写真に接し、個性ある作品の大切さを知り、自分の写真の至らなさに気づき衝撃を受けたものである。以来福田顧問や先輩方の指導を受けながら、最近では自分なりの心のこもった作品を撮ることができるようになってきたと思っっている。

写真はあくまで記録であるが、しかしながら或る一瞬を捉えることにより、一枚の写真が世界を動かし、

時には人の心を揺さぶる力を宿していると言われている。つまり感動した事や感じた事を自分なりに捉えて

表現し、第三者にも読み解かれ共感してもらええる写真を撮りたいのであるが、写真の道はなかなか奥が深く

その道を究めるにはまだまだ無理。簡単には奥義を極められないヒョッコの私でもある。

これからも諸先輩方の指導を受けながら、自分なりの表現で元気に長く続けられるよう楽しんで行こうと考える今日この頃である。

結成14年。歌の好きな仲間が集まり、友達の輪から生まれたコーラスグループです。現在9名、コーラスグループとしては少人数です。手塚久美子先生の指導のもと、うつくしいハーモニーを目標に練習しています。ミサ曲、日本歌曲、映画音楽など幅広いジャンルから選曲し



練習風景



第51回ひたちなか市合唱祭

ています。きれいなハーモニー、おもしろいリズムなど興味がわけば何でも挑戦してきました。

週1回、ふあみりくらぼでの練習を基本としています。しかし、この1年半余りコロナ禍で、なかなか思うように練習できませんでした。

コーラスには飛沫がつきもの、できるだけ換気の良いところをと、窓のある所に練習場所を変更したり、今は常識となりつつありますが、お互いの間隔を空ける、不織布マスクの着用等対策をとりました。

又、緊急事態宣言下では、やむを得ず活動休止。何カ月ぶりかで皆で

集まれた時には、お互いに健康であることを喜び合いました。しかし、久々の再会は喜んでも思うように声は出ず、ブランクの大きさを実感した次第です。

1年間の成果は、ひたちなか市合唱祭を発表の場と毎年参加させていただいています。今年は諸事情により参加を見合わせましたが、現在来年に向け基礎練習に励んでおります。

活動紹介

市民吹奏楽団

事務局長

宮内 慶樹

当団では、2021年12月19日に「第37回定期演奏会」を市文化会館大ホールにて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら開催しました。

今回の演奏会は『揺・魅・聴』の3つのSHOWTIMEをテーマに、ジャズ系や映画音楽、ミュージカル音楽などの曲を演奏しました。

その他の活動として、スプリングコンサート開催、枝川小学校全校音楽発表会やひたちなか市成人の集いでの演奏なども行うことができました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、練習時の検温や練習中の換気、練習会場の消毒などを実施しながら活動いたしました。

未だ、新型コロナウイルス・オミクロン株感染など収束しておりませんが、一日でも早く収束し平穏な生活や音楽活動ができるよう、感染拡大防止対策を実施しながら活動していきたいと思っております。

最後になりますが、ここまで活動を続けてこられたのも、市文化協会のご支援やご協力があったからだと思います。心より、感謝申し上げます。

これからも聴いて下さる皆様
が笑顔になる演奏や、市民の皆様
に愛されるバンドを目指して
活動していきますので、ひたち
なか市民吹奏楽団をよろしくお
願いします。



第3部の様子

【第37回定期演奏会】



第1部の様子

令和3年度もコロナの年

市民オーケストラ

団長 榎田 眞

今年度こそ演奏会を開きたいと例年通り10月の第1週の日曜日に芸術祭参加で計画をいたしました。その内容もソリストを予定せず、題名も“秋の音楽会”とし小編成の曲を中心に計画しておりました。しかしながら、仕上げに入る8月のお盆明けから9月末まで県の緊急事態宣言中となり、演奏会は中止といたしました。

最後の望みとして3月に有志による内部演奏会を実施し、録音をYouTubeにアップする予定です。

内容は

・こうもり序曲

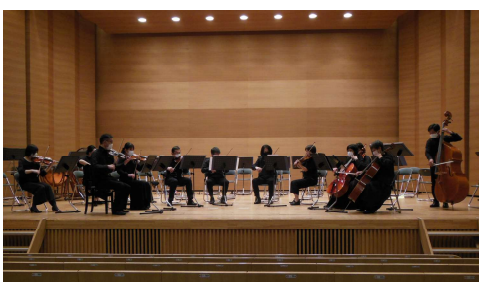
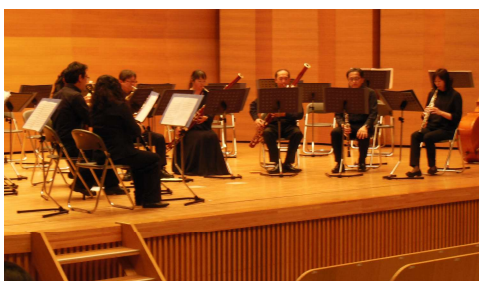
ヨハンシュトラウス

・金管楽器アンサンブル

・木管楽器アンサンブル

・弦楽アンサンブル

ほか、ご期待ください。



【春の音楽会より】



第29回Bトレイン定期演奏会

ジャズ連盟

Bトレイン・ジャズ・オーケストラ
トロンボーン担当 中村 智

2021年12月26日(日)にBトレイン・ジャズ・オーケストラは、市文化会館大ホールで第29回定期演奏会を開催しました。昨年に続きコロナ禍での開催で約200名のお客様に限らせていただいていたの開催でしたが、全力で楽しく演奏しました。

Bトレインは発足が1992年で今年30年目。発足初期からのメンバーが多く、定期演奏会で延べ550曲、イベントや練習等では約1500曲(譜面)を演奏してきました。

発足の1992年を調べると、バブルが崩壊した頃で、甲子園で松井秀喜さんが5打席連続敬遠された年です。当時の高校生が

既に50歳手前という現実に今更なが驚愕です(笑)。



Tb:中村氏



第2部の演奏でも熱が入ってます

長く活動が続いているのはメンバー全員、演奏が大好きで人生と共に音楽を楽しんでいるからだと思いません。

あるクラシック指揮者が、人生を豊かにする3つの「G」があり、「楽器(又は合唱)」「語学」「ゴルフ」と言っていました。これは言い換えると「芸術」「学習」「元氣」の3つの「G」とも思います。

森高千里さんが「私がオバさんになっても」を歌ったのも1992年。変わらない勇気をもってBトレインもまだまだ前進します。

舞踊部門

皆様に感謝

舞踊連盟

西川 扇紀

秋晴れの令和3年11月14日(日)2年ぶりに待ちに待った芸術祭、日本舞踊&舞踊まつりが開催されました。新型コロナウイルスの緊急事態制限が緩和されたとはいえ、県外からの舞台関係スタッフの依頼を断念し頭髪・化粧・衣裳等々全て自前の拵えの開催となりました。文化協会並びに文化会館の皆様のお力添えをいただき無事に開催できたことに感謝申し上げます。

会場は一席ごとに空席とし、検温・手指消毒を行い、入場時には整理券に住所・氏名を記入していただくなど対策を行いました。演目は18番と例年より少なく、何よりも可愛らしい姿で踊ってくれていた、子ども教室の皆様がコロナの影響で出演できなかったことは大変残念なことでした。しかしながら、出演者は中止であった昨年の無念を晴らすように、コロナに負けず日頃よりのお稽



大和楽 あやめ



常磐津 菊の栄

古の成果を存分に披露してくださいました。皆様に感謝申し上げます。この様な困難な時こそ、芸術文化が必要であり、私達の生活を癒し、心をより豊かにしてくれるものと確信いたしました。一日も早く、正常な生活に戻ることを願ってやみません。そして来年は無事に華やかな舞台が実現できる様、会員一同日々精進してまいります。

バレエ&ジャズダンス
フェスティバル

洋舞踊協会会長 海野 真紀

来年は大丈夫と置いていた去年からあつという間に1年が過ぎたのに、私たちはまだコロナの中にいました。会員の半数はワクチン2回接種で一安心と言えども、あと半数のワクチン未接種の小学生、幼稚園児たち。「マスクしてー」「ソーシャルディスタンス」は今年も続きました。ステージの両袖にマスクケースを置くテーブルを配置し、出番直前に

マスクを外してその中に入れる。踊り終わったらさっとマスクに戻る。4, 5歳の生徒たちもしっかりとやっています。マスクをするのが嫌でデモをしている大人たちのニュースを見ていたので、「この子たちはなんておりこうなのだろう」と思いました。

プログラムは第1部エリーダンススタジオ、第2部高木文子バレエスクール、第3部ハレルヤバレエ、第

4部ハレルヤジャズダンス。会場のお客様から大きな拍手を頂き、3歳から80歳のやり切った笑顔で幕を閉じました。



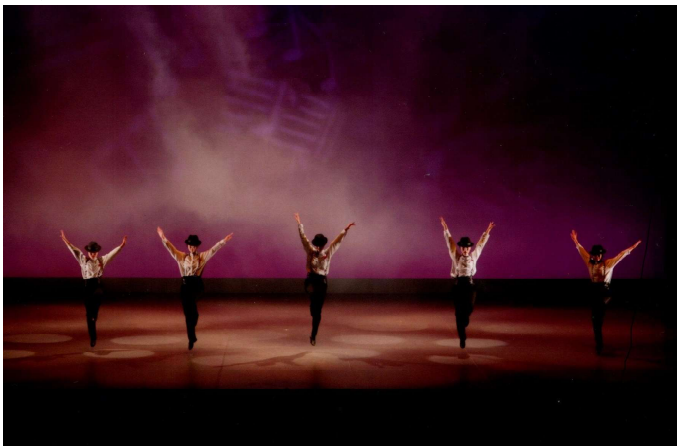
ハレルヤジャズダンス
「アルプスの少女ハイジ」



ハレルヤバレエ「眠れる森の美女Act3」

エリーダンススタジオ
「Flying Dancing2021」

高木バレエスクール
「おもちゃ箱」



伝統芸能部門



新しい歩みへ

邦楽連盟会長

初見 宗郷

邦楽連盟は、毎年、定期演奏会を重ね、2020年で第40回を迎えるはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で中止の憂き目にありました。そして、2021年こそは開催できると希望を膨らませていましたが、4月の総会時には、コロナが収まる気配はありませんでした。しかし、2年続きの中止は、今後の活動の立ち上がりには大きな障害になることを恐れ、今年、開催することを前提に準備を進めることにしました。また、40回という節目に何か一新したい気持ち強く、邦楽連盟の強いイメージがあるプログラムのデザインを変更するとともに、新たにチラシを作成することにしました。

7月初めには、演奏会開催を決断し、活動を本格化させ、チラシ、プログラムの印刷手配を進めました。8月、9月には第5波の猛攻を受け、一か月の稽古中断がありました。

ワクチン効果で11月には収まることを期待し、準備を進めました。開催にあたって、コロナ対策として、文化会館のガイドライン遵守をはじめ次の通りとしました。①昼食を無くすため、開演時間を13時30分とする ②各社中2曲から1曲に変更し、ジュニアの部の演奏を無しとする ③演奏時間は各15分とし、

ジュニアの曲を社中の中に入れる。当日は、約2時間の公演としたことにより、緊張した雰囲気を持続でき、観客の皆様も途中で席を外すことなく、最後まで集中して聴いていただきました。そして今回は、何よりも、開催できたことにより、次に繋げるものができたことを大変うれしく思いました。

新しいチラシ

新しいプログラム



初見 宗郷 社中演奏 「尺八二重奏曲 “双宴”」



「コロナの猛威のなかで」

吟詠剣詩舞連盟

事務局長

山下 勝司

コロナ禍は、今年度も昨年以上の猛威をみせ、全世界で現在（令和4年3月15日）までに4億6千万人の人々が感染し、6百万人を超える人が命を落とし、日本でも2万6千人の方が亡くなり今も増え続けています。

こうした状況から、我が連盟は昨年引き続き、今年度も「芸術祭発表大会」、「講演会」、「春の祭典」等、全ての公式行事の中止を余儀なくされました。連盟に属する各流派では、コロナの感染状況に応じて、詩吟教室を閉鎖、又は一時閉鎖をしたりして、活動を制限するなど調整と対策を講じながら、細々と活動を続けてきました。11月に入つて日本ではコロナ感染者が減少したため、各流派は全面的に教室の再開に動き始めた矢先、オミクロン株の出現で再び活動の縮小を余儀なくされ、我慢の状況が続いています。

詩吟は県、又は全国レベルの大会・コンクールが毎年開催されています。県レベルでは茨城県吟詠剣詩

舞総連盟（吟士権大会）、全国レベルでは茨城放送主催のコンクール、そしてレコード会社主催のコンクール（クラウン、ビクター、コロムビア）等多くの大会があり、毎年、多くの吟者が挑戦しています。しかし、今年度もそのほとんどが中止となりました。唯一、茨城県の吟士権大会のみが大幅に日程変更を繰り返しながら、通常は予選、準決勝、決勝という過程を踏むところを、今回は準決勝を省いた形で実施され、11月14日（於…東海文化センター）にその決勝大会が行われました。

今回のコンクールはマスク着用とされたため吟者はかなり苦労したようです。我が連盟からも多数参加し、優勝をはじめ多くの方が入賞を果たしました。

コンクールは漢詩の部と和歌の部に分かれて行われます。和歌は短歌のことですが、和歌という言葉はもともとは漢詩に対する呼び名で、長歌、短歌、旋頭歌など「やまと歌」の総称であったのですが、短歌以外のものはあまり読まれなくなり、いつしか和歌＝短歌となったと言われていています。他に日本的なものとして俳句があります。俳句も詩吟で吟じますが、節調が漢詩・和歌は陰旋律であるのに対して、俳句は一般的に民謡と同じ陽旋律を使用します。そのため俳句はあまり大会では吟じら

れてはいません。

吟士権大会の入賞者

部(クラス)	成績	氏名
青壮年部	準優勝	川崎 克弘 (岳風会)
漢詩一般部 2部	優勝	豊嶋 梅加 (岳謙会)
		関根 廣 (岳風会)
	入賞	眞家 義雄 (岳謙会)
和歌1部	優勝	豊嶋 梅加 (岳謙会)
和歌2部	入賞	細谷 光久 (岳風会)

新たな歴史に向かって

民謡民舞連合会

副会長 高橋 和彌

発足51周年を迎えた今年も、コロナ禍で、稽古が思うように出来ない

なかではあったが、春まつり大会、秋まつり大会を開催した。磯節全国大会が中止となったため、春まつり大会では磯節を特集して盛り上げた。地域の祭りや芸能祭が中止となるなかで、芸術祭秋まつり大会では、従来のコンクール部門に盆踊りや太鼓合奏を加えて盛り上がった。コンクール部門は36名の会員が自慢の咽を競い20名が入賞した。

【芸術祭秋まつりのコンクール結果】
市長賞 菌部 智恵(みのり会)
市議会議長賞 石井加代子(みのり会)
市教育長賞 久野 節子(谷井会)
文化協会会長賞 謝花 恵子(芳月会)



太鼓合奏

三浜盆おどり



○高野小で伝統芸能体験教室開催
12月13日、高野小学校5年生4クラスを対象に伝統芸能体験教室を開催した。これは学校からの依頼で、同小学校では昨年続き2回目となる。民謡民舞連合会から19名が指導に当たった。
授業は、1クラス1校時間で「網のし唄」の唄、踊り、三味線、太鼓を交代で体験した。三味線に初めて触れる児童たちは興味深々、弾ける様になったと喜んでいった。

コロナ禍の「伝統芸術
文化鑑賞会」に思うこと…

伝統文化連盟事務局長 鈴木 隆

新型コロナウイルスの影響で本連盟主催の「ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会」の公演が2カ年に亘り中止になりました。

我々が主催する鑑賞会は、所属する分野の異なる会派が単に競演するのではなく、互いに「調和」が生まれるまで稽古を重ねて協演するのが特徴です。これこそが観衆に感動を与えることを過去10数年の公演で学んでまいりましたが、コロナの影響で納得いく稽古が出来ず開催を断念しました。

「会員研究温習会」の開催

会員を指導する立場の各先生からは、レベルの低下を招かないために、先ず自分たちの稽古を兼ねた発表の場を作ろうとの意見が出され、「会員研究温習会」の開催を実施することとなりました。

開催に際し「コロナ感染防止策」の徹底を図るために、文化会館の指導を仰ぎながら、会員関係者以外の入場者は遠慮頂くこととしました。

そして、会員にとって実りある温習会にするために次のような方法をとることにしました。

・演奏の生の音を大事にするために、マイクの使用を出来るだけ避ける方法として「反響板（反射板）」を下ろしての演奏会とすること。

・コラボ形式は稽古時間と場所の確保が困難なため、原則会派毎に発表すること。

・普段目にする事が出来ない舞台の準備状況等を見られるように、緞帳等を使用せず舞台を解放した状態にしておくこと。

・観衆の目線で舞台を見る体験をするために、客席から他派の演技、舞台準備状況等を見学し、舞台上上がる際は客席から登場すること。
・演奏の失敗があった場合は、やり直しをOKと



小林久子社中演奏風景



琴古流尺八「竹韻社」演奏風景



安寿琴の会「蘭」演奏



総合演奏「春のこと触れ」



生田流箏曲「佳秋会」演奏風景



磯節保存会の皆さん

すること。

・司会者は、陰マイクとせず、舞台前方で会の紹介や演目の解説を行い、会の歴史や特徴等を客席にいる会員に知らしめるよう工夫をすること。

以上、コロナ禍にあつての我々の問題点と現状とを報告させて頂きました。

華道・茶道部門

「コロナと共に」

華道連合会会長

清水 豊正

昨年からのコロナ禍で活動が思うように進められないなか、今年度は小規模ながら総会、研修会（海浜公園にて花とみどりを楽しむ）を行う事ができました。

秋には芸術祭「いけばな展」を開催する計画を立てていましたが、8月にまたまたコロナが押し寄せ残念ながら「いけばな展」を断念いたしました。



クリスマスのアレンジに挑戦



花器の点検

来年こそは、会員一同協力して開催する事ができ、沢山の皆様に楽しんでいただけたらと思っております。



研修会(海浜公園にて)

軸を掛け、花を生け、湯を沸かし、点前を、友人・知人・初対面の人々にお茶を進める本来の事も、ままならない。

茶道連合会会長

高野 新一

一期一会無世界

この様ななか、会員独自、日々の鍛錬により、技術・能力の向上を計っている現状です。

一時、やっと明るい、皆で活動できる日々が来たと思われた瞬間に、最悪のウイルスが出現し、夢と希望を打ち砕かれてしまいました。茶会等が開催出来ない状況ではありましたが、細心の注意を払い、会長宅茶室に集合することになりました。

明るい未来を想定し、床に臨濟宗相国寺派管主有馬頼底老師「鶴宿千年松」の軸を掛け、織部の花入に、西王母と黒ろう梅の照り葉を、古裂の屏風、緑漆爪紅糸巻二重棚、鬼萩の水差、茶碗は、楽・志野・京焼・九谷・古窯等を準備して一服のお茶を飲み、今後の連合会の運営について話し合いました。

【役員】

- | | | |
|-----|--------|------|
| 会長 | 高野 新一 | (宗新) |
| 副会長 | 鎌田 真理子 | (宗真) |
| | 川崎 恵美子 | (宗恵) |
| 理事 | 秦野 弥代枝 | (宗枝) |
| | 岡 弘子 | (宗弘) |
| 監事 | 小野瀬 博邦 | (宗博) |
| | 近藤 桂子 | (宗桂) |

追悼

昨年9月に、二代会長(2期4年) 関山三枝子(宗枝)様が、お亡くなりになりました。会長として、4年間の奮闘・尽力に感謝して、哀悼の意を表します。
ご冥福をお祈り致します。



会長宅 茶室にて

文学部門

市芸術祭参加俳句大会

俳句連盟会長 大野 ひろし

市芸術祭参加俳句大会が11月21日(日)市文化会館で開催された。昨年から新型コロナウイルスの感染状況が心配されたが、感染予防に配慮し無事開催出来たこと、関係各位に御礼申し上げます。

大会は、参加対象を市内関係者として3年目となるが、応募句数420句、当日参加者38名と増えてきており、ひたちなか市により密着した俳句大会になってきていると確信を深めることが出来た。

以下は大会の上位入賞「募集句」の部

市長賞 伏屋 雅子
 箆笥より昭和引き出す更衣
 市議会議長賞 塩谷きみこ
 嬰抱けば天使の軽さ小春風
 市教育長賞 大野ひろし
 緑陰に入り休ませる己が影

市文化協会会長賞 早瀬 貞夫

昭和史の貌の居並ぶ敬老会

市俳句連盟会長賞 河原井雅子

天高くただそれだけの良き日かな

大野ひろし大会会長特選 末成 昭子

カナ燃ゆ筑波海軍特攻隊

高橋 和彌むつみ講師特選 伏屋 雅子

箆笥より昭和引き出す更衣

「当日句」の部 席題(口)

市長賞 藤 洋子

無口なる父の饒舌新走り

市議会議長賞 伏屋 雅子

柚子の香や隣をつなぐ勝手口

市教育長賞 大野ひろし

口下手は父親ゆづり花八つ手

市文化協会会長賞 河原井雅子

湯たんぽの口いっばいに今日の夢

市俳句連盟会長賞 早瀬 貞夫

口裂けし土囊の土砂に草の花

大野ひろし会長特選 早瀬 貞夫

口裂けし土囊の土砂に草の花

高橋 和彌講師特選 通野 弘美

口角を上げて明日へ冬満月



芸術祭参加第46回俳句大会の様子

棋道部門

一年間の活動

囲碁連盟会長 藤谷 十一

囲碁連盟の主な行事は、対外的には県北市町村親善囲碁大会、姉妹都市(那須塩原市)親善囲碁大会および日立市が行う囲碁大会への自由参加があります。

毎年恒例となっているこれらの行事には積極的に参加して囲碁の友好親善に努めています。今年度は新型コロナウイルスの感染が懸念されるためにすべて中止になりました。残念な事態ですがやむを得ません。

内部行事としては、ひたちなか市囲碁大会が最大のものです。例年1月に行う参加者150人規模で近隣都市からの参加者も多数あります。でもやはりコロナの影響で中止になりました。

ほかに連盟内部の囲碁大会がありますが、これがこれも自粛せざるを得ませんでした。

ただ大会はできませんでしたが、ミニ大会として毎週土曜日には少人



ひたちなか市囲碁大会
(2019年度実施)

数で集まって感染防止にとめながら対局を続けています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。
 コロナ禍のための中止・自粛は昨年度と同様です。それぞれの行事はやむを得ず控えましたが、囲碁の棋力維持と向上には会員一同研鑽を積んで励んでいます。



姉妹都市親善囲碁大会
(2019年度実施)

編集後記

あつての物だねと鷹揚に構え、無理をせず焦らず、コロナ禍が通り過ぎるのを待ちましょう。そして世の中が落ち着いたとき、お互いの無事を祝い、そして語れる日が早く来ることを期待してやみませ

編集委員長

編集委員

委員長 (吟詠剣詩舞連盟) 山下 勝司

(市民オーケストラ) 榎田 眞

(陶芸協会) 小林 涼子

(舞踊連盟) 西川 扇紀

(俳句連盟) 伏屋 雅子

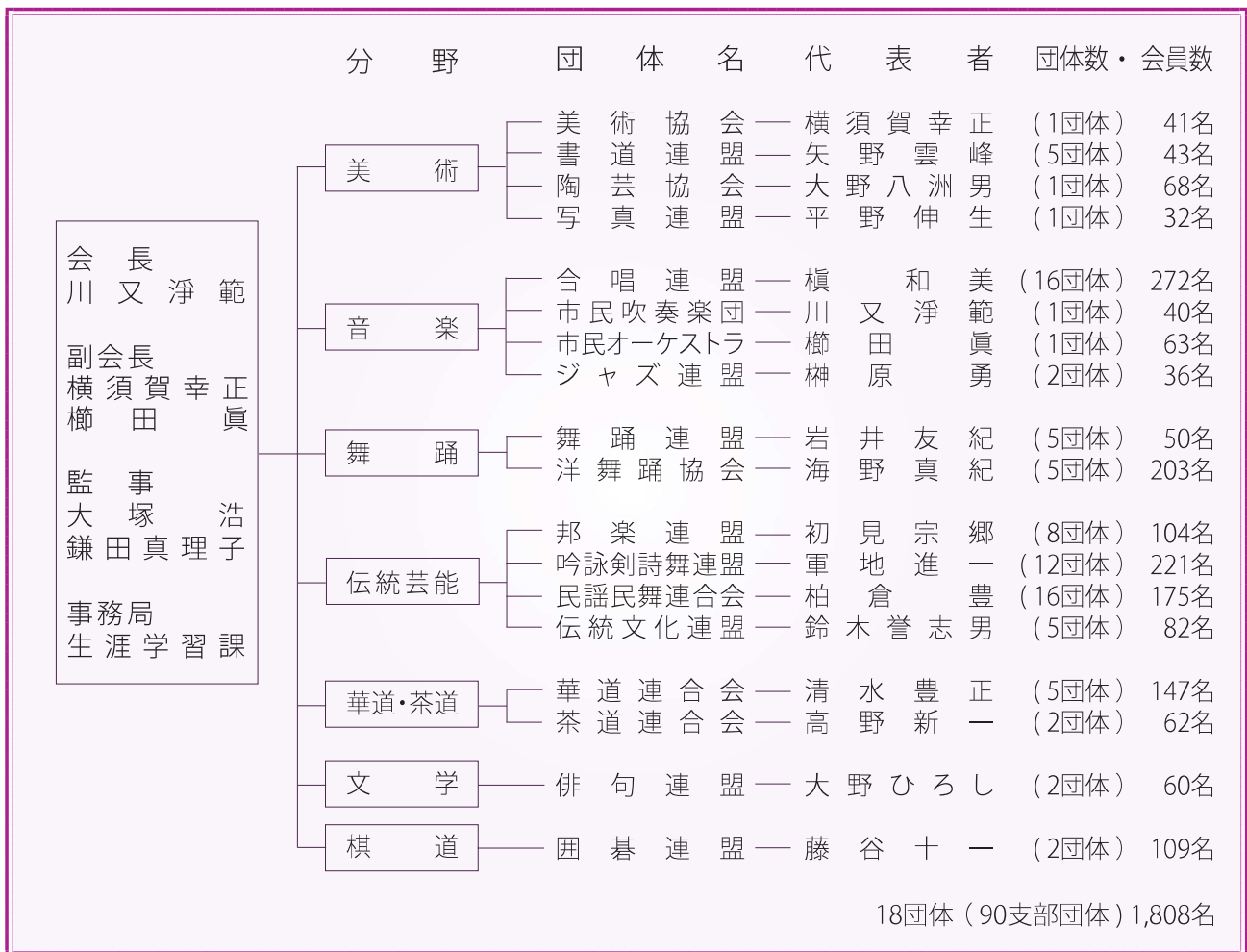
事務局 生涯学習課

木田 伸子

2年続けてのコロナの猛威は、私たちの文化芸術活動にも大きな影響を与えました。文化協会に所属する各団体は、多くの行事の中止、又は活動の縮小を余儀なくされ苦しい対応を迫られました。さらにコロナの新株の出現は、我々の期待をより一層削ぐ形になっています。長期に亘る行事の中断で会員が減るのではと危惧する人もいます。

しかし、災害に対しては慌てず、常に人々の安全を最優先して感染リスクのある行動を慎み、「やり過ぎず」という姿勢が大切だと云われています。
 我々の文化芸術活動はほとんどが趣味の世界です。いわゆる不要不急の部類に属するものです。命

ひたちなか市文化協会組織図



会 員 募 集 中

いつでもお気軽に入会をお待ちしております!

ひたちなか市文化協会加盟団体では、会員を随時募集しております。一緒に活動参加しませんか。

お気軽にお問い合わせください。

【連絡先】ひたちなか市文化協会事務局 ☎ 029-272-6301

メールアドレス hca@outlook.jp

ホームページ <https://www.hitachinaka-ca.org>

ひたちなか市文化協会 検索



会 報 白 亜 紀
発行日 令和4年3月31日
発行者 ひたちなか市文化協会
事務局 ひたちなか市市民生活部生涯学習課
(ふぁみりこらぼ内)
TEL 029-272-6301
FAX 029-272-9297